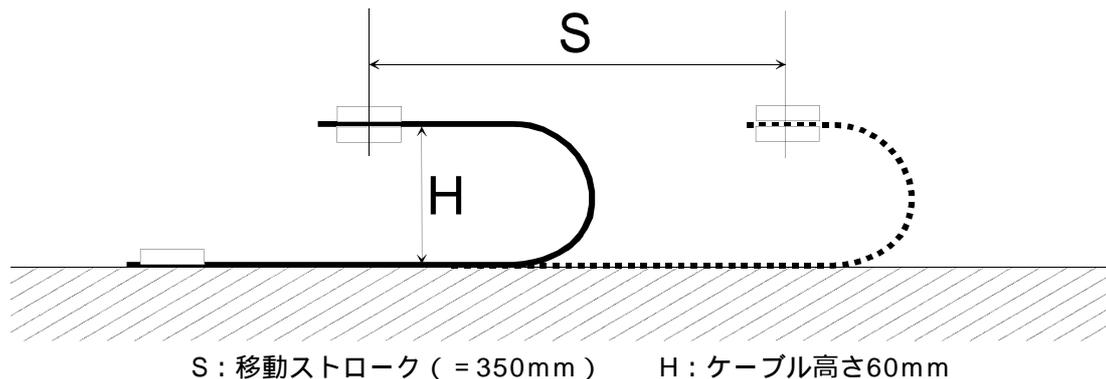


『可とう形オキフレックス』の可動性能

【概略】

『可とう形オキフレックス』は固定配線用のフラットケーブルを可動部での使用に対応させるため、可動に適した導体構成に変更したフラットケーブルです。
その可動性能について、下記に試験結果を示します。



<試験サンプル>

- ・可とう形オキフレックス(19/0.08タイプ、15心)
- ・可とう形オキフレックス(30/0.08タイプ、16心)
- ・ブリッジ形オキフレックス (15心)

<試験条件>

- ・試験温度：常温 (20)
- ・試験内容：摺動屈曲 (移動速度：40回 / 分、1回 = 1往復とする)

<試験結果>

品名	可とう形オキフレックス 15心	可とう形オキフレックス 16心	ブリッジ形オキフレックス 15心
導体構成	19/0.08	30/0.08	7/0.127
サンプル No	1	1,000万回以上で断線なし	200万回までで断線
	2	1,000万回以上で断線なし	240万回までで断線
	3	1,000万回以上で断線なし	180万回までで断線
	4	1,000万回以上で断線なし	-
	5	1,000万回以上で断線なし	-

注) 試験条件、方法は、当社独自のものであります。これらのデータは参考であり保証値ではありません。
ブリッジ形オキフレックスは可動性能比較のためのデータです。

【解説】

可とう形オキフレックスの導体は、ブリッジ形オキフレックスが7/0.127に対し、19/0.08 (標準) および30/0.08 (特注) です。可とう形は導体素線径を細径化、撚り本数を多くしたことで、大幅な可動性能の向上を図り、ブリッジ形の5倍以上の可動性能を有しています。